

2019年2月12日

株式会社 富士経済
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町
1番5号 PMO 日本橋江戸通
TEL.03-3664-5811 FAX.03-3661-0165
<https://www.fuji-keizai.co.jp/>

広報課 TEL.03-3664-5697
<http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>

アンチエイジング、ホワイトニングなどのスキンケアが好調 機能性化粧品の国内市場を調査

2018年見込(2017年比)

アンチエイジング機能スキンケア市場 6,092億円(9.4%増)

~大手各社が投入したシワ改善効果のある有効成分を配合したスペシャルケアが好調~

オールインワンスキンケア市場 1,072億円(10.3%増)

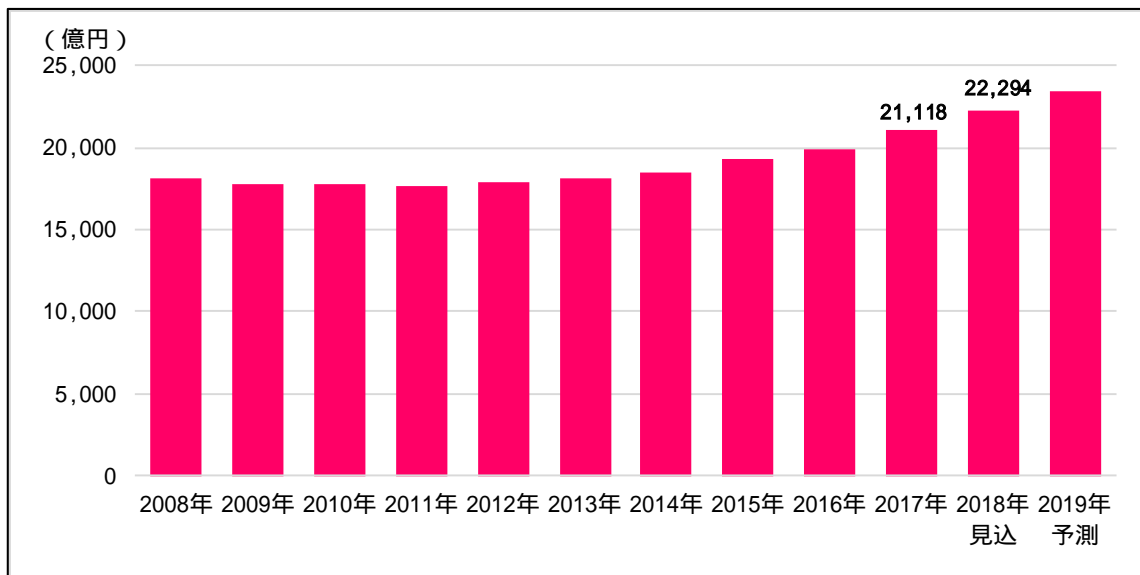
~オールインワンのほか、“時短”を訴求したシートマスクが市場をけん引~

総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済(東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 清口 正夫 03-3664-5811)は、薬用成分など機能性への期待感から市場が拡大を続けている機能性化粧品国内市場を調査した。その結果を「**機能性化粧品マーケティング要覧 2018-2019**」にまとめた。

今回の調査では、スキンケア(5機能)、ベースメイク(6機能)、ボディケア(5機能)、ヘアケア(5機能)において何らかの機能を訴求するものを“機能性化粧品”と定義し、カテゴリー別機能動向と注目商品動向を分析した。

<調査結果の概要>

機能性化粧品市場



化粧品市場は、訪日外国人観光客の増加を背景にインバウンド需要を取り込み、近年拡大している。これに伴い機能性化粧品市場も伸長を続けており、2017年はポーラ、資生堂がシワ改善効果のある有効成分を配合したスペシャルケアを投入したことにより、中高年層だけでなく、美意識の高い若年層開拓にもつながったことでスキンケア市場が大幅に拡大するなど、各市場が好調だった。

2018年も引き続きインバウンド需要を取り込んでいるほか、コーセーがシワ改善効果を訴求した商品を投入することで薬用化粧品の効果への期待がさらに高まり、アンチエイジングや抗老化美白などの機能への需要増加を背景に、機能性化粧品市場は拡大が見込まれる。

アンチエイジング【対象品目：スキンケア、ベースメイク、ボディケア、ヘアケア】

	2017年	前年比	2018年見込	前年比
アンチエイジング	7,424億円	109.5%	7,985億円	107.6%
スキンケア	5,569億円	112.0%	6,092億円	109.4%

アンチエイジング意識の高まりを背景に加齢に伴う肌や頭皮、髪ケアなど細分化する悩みに対応した商品の投入が相次ぎ、近年市場は拡大している。スキンケアは各社よりシワ改善効果のある有効成分を配合したスペシャルケアが投入され、大幅に伸長している。また、ヘアケアでは70代以上をターゲットとした新商品が発売されるなどエコ入れが行われており、男性用育毛剤の通販ブランドが急成長するなど市場は活性化している。アンチエイジングは高齢化が進行する日本社会において長期的な市場拡大が期待される。

ホワイトニング【対象品目：スキンケア、ベースメイク、ボディケア】

	2017年	前年比	2018年見込	前年比
ホワイトニング	2,855億円	109.1%	3,037億円	106.4%
スキンケア	2,404億円	109.6%	2,560億円	106.5%

ホワイトニングは特にアジア人観光客に人気が高く、化粧品が免税対象となった2014年以降、インバウンド需要を取り込み成長が続いている。2017年は資生堂がシワ改善と美白の有効成分をダブル配合した商品を開発したことや、オールインワンジェルやBB・CCを主力とする通販ブランドが主力商品に美白有効成分を配合するなどのリニューアルを行ったことから市場は大幅に拡大した。2018年は夏場の気温が高かったことからホワイトニング意識が高まり、美白美容液が好調だったこと、制度品系最高級ブランドが前年を上回るインバウンド需要を取り込んでいることから、市場は大幅な伸長が見込まれる。

敏感肌【対象品目：スキンケア、ベースメイク、ボディケア、ヘアケア】

	2017年	前年比	2018年見込	前年比
敏感肌	950億円	110.3%	1,013億円	106.6%
スキンケア	697億円	108.4%	738億円	105.9%

敏感肌訴求の商品は安定したリピートユーザーに支えられており、愛用者の高齢化を背景にホワイトニングやアンチエイジングといった機能性ラインの強化が進められている。それに伴い、敏感肌以外の層からも需要を取り込んでいる。近年、肌荒れに対するケア効果のある成分を配合したベースメイクアイテムが新たな需要開拓につながっており、市場は大幅な拡大が続いている。

<注目商品の動向>

オールインワンスキンケア

2017年	前年比	2018年見込	前年比
972億円	113.0%	1,072億円	110.3%

オールインワンスキンケアは化粧水、乳液、美容液など複数のスキンケア機能をもつことを訴求したアイテムを対象とする。

2013年以降、セルフフルーツで展開するオールインワンジェルの商品数の増加や、シートパックや化粧水といったカテゴリーにおいてもオールインワン機能を訴求する商品が投入されるなど市場拡大が続いている。2018年は“時短”を訴求したシートパックの実績が拡大するなど市場は大幅な伸長が見込まれる。

クッションファンデーション

2017年	前年比	2018年見込	前年比
81億円	147.3%	106億円	130.9%

クッションファンデーションはコンパクトの中のスポンジやスティックの中に液状のファンデーションを含ませ、パフやスポンジ部分を肌に直接載せるようにして使用する商品を対象とする。

クッションファンデーションはBB・CCと同様に韓国におけるブームを受け、日本においても外出時に手を汚さずにリキッドファンデーションを使えるという利便性の高さからメイクへの意識が高い層を中心に需要を獲得している。セルフブランドやカウンセリングブランドのほか、外資系ハイプレステージブランドからも商品の投入が相次ぎ、市場は拡大が続いている。

<調査対象>

カテゴリー	訴求機能	対象品目
スキンケア	モイスチャー ホワイトニング アンチエイジング 敏感肌 アクネ対応 <注目商品動向> オールインワンスキンケア プレフォーム剤型スキンケア	洗顔料・クレンジング 化粧水 乳液 美容液・スポットケア モイスチャー マッサージ・パック
ベースメイク	モイスチャー ホワイトニング・UV アンチエイジング 皮脂過剰抑制 敏感肌 アクネ対応 <注目商品動向> BB・CC クッションファンデーション	メイクアップベース ファンデーション フェイスパウダー
ボディケア	モイスチャー UV（ホワイトニング） スリミング/マッサージ効果 敏感肌 フレグランス <注目商品動向> サンスクリーン	リップクリーム サンタン・サンスクリーン ボディシャンプー ボディクリーム・ローション ボディマッサージケアクリーム バスプロダクツ
ヘアケア	モイスチャー&マイルド ダメージケア 頭皮ケア アンチエイジング フレグランス <注目商品動向> 家庭用ボタニカルヘアケア	シャンプー リンス・コンディショナー ヘアトリートメント 女性用スカルプケア 男性用スカルプケア メンズシャンプー・リンス

<調査方法> 富士経済専門調査員による参入企業及び関連企業・団体などへのヒアリング及び関連文献調査、社内データベースを併用

<調査期間> 2018年9月～12月

以上

資料タイトル：「機能性化粧品マーケティング要覧 2018-2019」

体 裁：A4判 305頁

価 格：書籍版 120,000円+税

PDF+データ版 130,000円+税

書籍/PDF+データ版セット 150,000円+税

ネットワークパッケージ版 240,000円+税

発 行 所：株式会社 富士経済

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町1番5号 PMO日本橋江戸通

TEL：03-3664-5811（代） FAX：03-3661-0165

URL：<https://www.fuji-keizai.co.jp/> e-mail：info@fuji-keizai.co.jp

調 査・編 集：東京マーケティング本部 第二部

TEL：03-3664-5821

FAX：03-3661-9514

この情報はホームページでもご覧いただけます。 URL：<http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>